

環境モデル都市行動計画素案における 「歩くまち・京都」の実現に向けた取組について

平成20年10月23日

京都市総合企画局
地球温暖化対策室

1 削減目標

京都市地球温暖化対策条例（平成17年4月施行）

- ・ 2010年までに 10% 削減（1990年比）

京都市気候変動防止宣言（平成19年2月）

- ・ 2020年までに 30% 削減（1990年比）
- ・ 2050年までに 80% 削減（1990年比）

国における「クールアース50」（平成19年6月）

- ・ 2050年までに世界で半減（現状に対して）



環境モデル都市としての削減目標

中期目標

- ・ 2030年までに 30～50% 削減（1990年比）

長期目標

- ・ 2050年までに 60～80% 削減（1990年比）

2 削減目標の達成に向けた考え方

まちの特性を更に高めていきながら 低炭素社会の実現を目指す

- ・「歩くまち・京都」の実現
- ・「景観と低炭素が調和したまちづくり」

低炭素社会の実現に向けて不可欠な ライフスタイルの転換を目指す

- ・「環境にやさしい低炭素型のライフスタイルへの転換」

地域資源を活用した取組を推進する

- ・「イノベーションをはじめとした低炭素型経済・生産活動の発展」
- ・「再生可能エネルギー資源の徹底的な活用」

地域力を総結集
して推進

- ・市民
- ・事業者
- ・環境NPO
- ・大学



3 「歩くまち・京都」の実現に向けた取組

自動車中心から公共交通への転換

- ・ モビリティ・マネジメント施策をはじめとする総合交通戦略の推進
- ・ 歩いて楽しいまちなか戦略
- ・ パーク＆ライドの拡大等
- ・ 公共交通機関の利便性向上と新たなネットワーク化
- ・ 環境にやさしく利便性の高い交通システムの検討
- ・ 観光施策と一体となった公共交通の利用促進
- ・ エコ通勤の拡大に向けた取組

自転車の利用者に対する取組

- ・ 自転車利用環境の整備
- ・ 都市型レンタサイクル事業の実施

自動車の利用者に対する取組

- ・ エコカーへの転換に対する支援と電気自動車の普及拡大の検討
- ・ エコドライブ推進者の拡大



4 温室効果ガス排出量の中長期削減量

(単位:万 t-CO₂)

		1990年 (基準年)	2006年 (実績)	2030年 (推計)	2050年 (推計)
温室効果ガス 総排出量		823	773 (6.1%)	411 (50.0%)	261 (68.2%)
CO ₂ の 主要排出部門	産業部門	208	126	182	169
	運輸部門	201	182 (9.5%)	74 (63.2%)	40 (80.1%)
	業務部門	168	197	124	70
	家庭部門	174	212	95	61

(注) 上記推計値は、現在算定中のもの

(注) ()内は対基準年比